進路だより

新学期が始まりました。1年生は，入学してから2週間経ち，中学校生活に慣れ始めた頃でしょう。これから，「進路」のことについて，いろいろと情報を伝えていきます。

自分の将来について考えよう

1年生は，大人に一歩近づいたことを自覚しましょう。

中学校に入学して，毎日制服を着て登校するようになりました。
様々な場面で，その場に応じた服装をすることは，世の中では当たり前のことです。中学校生活の中で勉強や運動，部活動，係活動への取り組みから，世の中の仕組みを学んでいきましょう。そして，たくさんの人たちと交流して，そこから自分のことを見つめ，将来の自分を考えていきましょう。

２年生は，職場体験で世の中のことを知ろう。

２学期に職場体験があります。世の中には，たくさんの仕事があり，それぞれの仕事が互いに関係し合って成り立っています。そのことから，世の中の仕組みや，働く人たちの様子を知り，自分のこれからの進路の役に立てていきましょう。

３年生は，卒業後の進路を考え始めよう。

夏休み中に高校・専門学校の１日体験学習やオープンキャンパスがたくさんあります。
自分が興味を持っている高校・専門学校に直接行って，そこでの学校生活や授業の体験をしてみましょう。県立高校では１日，私立高校や専門学校では2～3日（連続か毎週，または学校の指定した日）の期間で行われます。6月にインターネットによる申し込みが始まります。日にちが重ならなければ、何校でも体験できるので興味のある高校に行ってみましょう。

進路と人間

― 軽井沢高校の奇跡 ―

目標のある人にとって「あきらめない」ことは、大切である。

二〇一七年、軽井沢高校野球部は前年の夏の大会後に引退や退部により部員がゼロとなった。たった一人残ったマネージャーの小宮山さんがグランド整備や用具の修理をして部を継続させていた。

4月の入学式後、小宮山さんは1年生全員に手紙を書いた。「軽井沢高校の野球部として大会に出たいんです。力を貸してください」

呼びかけにより、1年生8名が入部、他の部活からの手助けもあり、大会に出られるようになった。

小宮山さんはコールドスプレーのキャップに一人一人メッセージを書いた。高橋君のキャップには「ホームランを打って」と書かれていた。高橋君の打ったボールはツーランホームランとなり、そのボールは小宮山さんにプレゼントされた。